



安全データシート

業務用 ルックプラスまめピカ抗菌プラス トイレのふき取りクリーナー

JIS Z 7253 : 2019に準拠
作成日: 2024/02/01

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : 業務用 ルックプラスまめピカ抗菌プラス トイレのふき取りクリーナー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : トイレ用除菌・洗浄剤
使用上の制限 : 推奨用途以外で使用しない

会社情報

供給者の会社名称: ライオン株式会社
住所: 〒111-8644 東京都台東区蔵前一丁目3番28号
担当部門: ヘルス&ホームケア事業本部 事業統括部
電話番号: 03-6739-3600
FAX番号: 03-6739-9765
メールアドレス: gsds@lion.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分 3
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない

環境有害性	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示（GHS
JP）

注意喚起語（GHS JP）：危険

危険有害性（GHS JP）：引火性液体及び蒸気
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
水生生物に有害

注意書き（GHS JP）

安全対策：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースをとること。
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置：皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を水で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管：施錠して保管すること。

廃棄：内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

名前	濃度（%）	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
エタノール	10～20	(2)-202	既存化学物質	64-17-5

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 霧状の強化液、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、ハロゲン化物、粉末
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災危険性 : 引火性液体及び蒸気。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 応急処置 : 裸火、火花禁止、禁煙。
出動は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 必要に応じ局所排気装置や洗眼設備を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を接地すること／アースをとること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。
防爆型装置を使用する。
個人用保護具を着用する。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。
- 技術的対策 : 容器を接地すること／アースをとること。

8. ばく露防止及び保護措置

エタノール (64-17-5)	
日本 - ばく露限界値	
許容濃度 (ACGIH)	TWA -, STEL 1000 ppm

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : (作業内容等に応じて) 保護マスク
- 手の保護具 : (作業内容等に応じて) 保護手袋
- 眼の保護具 : (作業内容等に応じて) 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : (作業内容等に応じて) 保護衣

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 芳香がある
pH	: 7 (原液、25℃)
融点	: データなし
凝固点	: 0 °C 以下
沸点	: 100 °C (初留点 : 84.5℃)
引火点	: 33 °C (タグ密閉式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に任意に溶ける。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない (製品のデータ) LD50>2000mg/kg（急性毒性推定値）。 (成分のデータ) エタノール：LD50=8300mg/kg【OECD SIDS※Initial Assessment Report For SIAM 19(2004)】 アルカンスルホン酸ナトリウム（SAS）：LD50=2130mg/kg【HERA（2005）※】 本剤の1.244%は毒性が未知の成分からなる。
急性毒性（経皮）	: 分類できない 情報なし
急性毒性（吸入）	: 分類できない（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト）
急性毒性（吸入:気体）	: 情報なし
急性毒性（吸入:蒸気）	: 情報なし
急性毒性（吸入:粉じん、ミスト）	: 情報なし
急性毒性（吸入:ミスト）	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない (製品のデータ) 情報なし (成分のデータ) エタノール：皮膚刺激性なし【OECD SIDS※Initial Assessment Report For SIAM 19(2004)】
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 強い眼刺激 (製品のデータ) 情報なし (成分のデータ) エタノール：区分2B【社内データ】
呼吸器感作性	: 分類できない 情報なし
皮膚感作性	: 分類できない 情報なし
生殖細胞変異原性	: 分類できない 情報なし
発がん性	: 分類できない 情報なし
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (製品のデータ) 情報なし (成分のデータ) エタノール：ヒト疫学データで生殖毒性が認められる【DFGOT※ Vol.7(1996)】
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない 情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
情報なし

誤えん有害性 : 分類できない
情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に有害。
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に有害
(製品のデータ)
情報なし
(成分のデータ)
エタノール : EC50=5464mg/L(Daphnia magna, 48hr) 【ECETOC TR※
91, 2003】
アルカンスルホン酸ナトリウム (SAS) : LC50=8.4mg/L(Danio
rerio, 96hr) 【HERA (2005)※】
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない

残留性・分解性

追加情報なし

生体蓄積性

追加情報なし

土壌中の移動性

追加情報なし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない
情報なし
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
追加情報 : 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG) : 1170
正式品名 (UN RTDG) : エタノール溶液
容器等級 (UN RTDG) : III
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 3
危険物ラベル (UN RTDG) : 3



クラス (UN RTDG)	:	3
少量危険物 (UN RTDG)	:	5L
微量危険物 (UN RTDG)	:	E1
包装指令 (UN RTDG)	:	P001、IBC03、LP01
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件 (UN RTDG)	:	T2
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件 (UN RTDG)	:	TP1
海洋汚染物質	:	非該当
特別な輸送上の注意	:	関係法令の定めに従う。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

海上規制情報	:	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:	航空法の規定に従う。
その他の情報	:	補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

消防法	:	非危険物
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物 エタノール 名称等を通知すべき危険物及び有害物 エタノール 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	:	該当しない
船舶安全法	:	引火性液体類（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法	:	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	:	その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

16. その他の情報

参考文献	:	・OECD SIDS:OECD Screening Information DataSet, 経済協力開発機構。 ・DFGOT:Occupational Toxicants Critical Data Evaluation for MAK Values and Classification of Carcinogens（ドイツ学術振興会編）。 ・HERA:Human & Environmental Risk Assessment on ingredients of European household cleaning products、洗剤関連原料のヒト及び環
------	---	--

境安全性評価。

- ・ ECETOC TR : Technical Report, 欧州化学物質生態毒性・毒性センター。
- ・ JIS Z 7252:2019。

「記載内容の取扱い」

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。

尚、営業秘密である成分情報は非開示（濃度においては幅記載を含む）と記載している場合があります。